

がん病態栄養専門管理栄養士の活動報告

栄養科 富田 仁美

当院で、膵臓センターが開設されました。多職種ワーキンググループメンバーで治療を支えていこうと様々な話し合いを重ねてきました。

管理栄養士も手術前後の化学療法を含む全期間関われるよう体制作りをしてきました。8月発行された那覇市の広報紙「那覇市民の友」には、すい臓に非常に関連の深いアルコールや油の摂取について執筆しました。

8/19には、県立博物館・美術館で「お腹の中の小さくて大切なすい臓を守ろう」と題して、がん市民フォーラムを開催しました。そこでもすい臓と食事は密接に関わるということですい臓を守るためにはどうしたらいい？～気をつけたい食事とお酒のお話～と題し、飲酒についてや、油の選択や適正量についてより詳しくお伝えし、さらに摂りすぎに注意したい食品の紹介、また1日350g野菜を食べるための工夫等についてもお伝えしました。最後に膵曜日アクションシートを使って会場のみなさまと一緒にセルフチェックをして前日の食事と体調を振り返りました。当日はたくさんの方が会場に足を運んでくださり、パネルディスカッションでは、様々な質問もいただき膵癌について、県内でも関心が高まっていることがうかがえました。院外に向けて必要な方に栄養療法に関する情報発信をしていくことはとても大切だと気づかされた日でした。私にできることはわずかですが、今後も栄養科スタッフと協力しながら精一杯取り組み役割を果たしていきます。

講演会の様子

